

房総の岩峰と里見八犬伝の山を結ぶ 伊予ヶ岳・富山

実施日 2014年2月1日(土)

天候 晴れ

リーダー 伊藤 久雄

参加者 若村勝昭、若村貴世子、佐藤金冶、涌井良明、渋谷京子、荻野智恵子、石原勝正、宇野輝代、徳山敬子、矢作多恵子 計11名

費用 JR6,380円(新宿起算・特急利用) 630円 計7,010円

タイム 岩井駅(10:00-10:15)天神郷(10:25-11:10)伊予ヶ岳南峰・伊予ヶ岳北峰(11:20)伊予ヶ岳南峰(11:35)広場(12:15~12:40 昼食)谷集落分岐(12:55)富山南峰(14:15)合戸ノ堰(14:45)伏姫ノ籠窟(14:55)岩井駅(15:35~16:14)⑨新宿さざなみ

トミーと言う市営バスで行く予定でしたが混雑が予想されたので岩井駅よりタクシー利用で登山口の天神郷に向かう。



下車した所に鳥居が有りそれをくぐると目の前に平群(へぐり)天神社が有りその脇が本日お目当ての伊予ヶ岳(房総のマッターホルン)登山口がある。

シイヤクヌギの雑木林の緩やかな山道を暫く行くと整備はされているが徐々に階段状の山道がきつくなってくる。



一汗かいた頃富山への分岐の標識が現れ二汗かいた頃に東屋の有る展望台に着く。

目の前に今日次に登る富山や段々畑、山里の風景が視界に広がる。

此処から少し北に下った所にロープが下がった丸みをおびた岩が現れ、足元はザレ場で滑りやすく登りにくい。ロープは一本又は二本の所三つ又になった所と複数あり一か所鎖場もありしかもなかなかの傾斜である。



10分程格闘しながら登ると伊予ヶ岳山頂の南峰に出る。鎖で囲まれた露岩は360度の大展望が開ける。



10分程格闘しながら登ると伊予ヶ岳山頂の南峰に出る。鎖で囲まれた露岩は360度の大展望が開ける。

正面には富山、その右に丸い形をした津辺野山、さらに遙か右前方に鋸山、浦賀水道を挟んで三浦半島、後ろを振り向くと房州で一番高い自衛隊のレーダー基地が有る愛宕山、等の山々が眼に入ってくる。

展望を満喫した後記念写真を撮って尾根を少し下り北峰に向かう。



10分ほどで着くが此処も素晴らしい眺望で有る。南峰まで戻り下山を開始する。元来た道をロープを伝って滑りやすいザレ場岩場を下り富山への分岐の標識を右に巻いて行く。

山頂は狭く登山者も多いので枯れ草に覆われた広場で小春日和の暖か



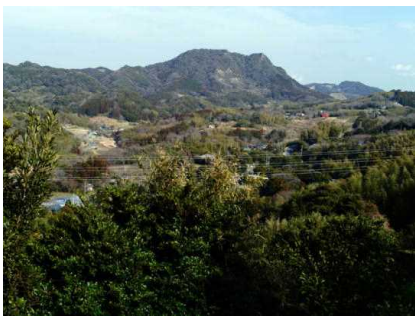
さの中で昼食にする。時間がなかったので早々に切り上げ富山に向かう。

R 8 9 号線を横切り此処からは車道歩きになる。

あちこちに水仙の花が見ごろを迎え時々良い香りを漂わせている。密柑畑も多く梅もちらほら



咲き始め暫らくはのどかな里山の風景を眺めながら時々発するW氏のダジャレを聞きのんびりと歩を進めて行く。振り返るとつい先程登った伊予ヶ岳がこちらを見つめている。



富山の登山口からは徐々に傾斜がきつくなり単調な舗装の山道を汗を流しながら黙々と登って行く。北峰、南峰の分岐にたどり着くとまずは北峰に向かう。

頂上は平成11年皇太子、皇太子妃の「両殿下御散策記念」碑が建てられて



おり良く整備されていきました。展望台に上がると前方に保田や岩井、館山や低山では有るが千葉県山々がぐるりと見渡せ、雲がなければ三浦半島の上空に雪を頂いた富士山の雄

姿が更に左遠方に大島が見られるはずでしたが残念。

しばらく堪能した後南峰に向かう。しかし古い祠の他は何もないという事で伏姫ノ籠窟(ろうくつ)へと下山を始める。不規則で歩きにくい木道を下っていくと合戸ノ堰に出る。

此処から伏姫ノ籠窟へはもう直ぐである。着いて入口の門を覗くと階段が見え、行きますか?と問うともう階段は見るのも「いやっ」という事でパス、そのまま岩井駅に直行。



房州の山は低山(340m前後)では有りましたがスリル有り花に癒されそこそこ歩きがいも有り楽しい山でした。

(記&写真・伊藤 久雄)

(写真提供・涌井 良明)

